

二〇〇七年八月二十五日  
発行



第90卷 第5号 史学・地理学・考古学

論 説

- 仏法と人法……………久野修義 (1)  
兵士から外国人労働者へ……………溝上宏美 (38)  
——アトリー労働党政権のポーランド人再定住政策 一九四六～四九——

研究ノート

- バルミラの支配者オダエナトゥスの経歴……………井上文則 (71)

研究動向

- 「朝貢」と「互市」と海関……………岡本隆司 (87)

書 評

- 原秀三郎著『地域と王権の古代史学』……………小林昌二 (110)  
夫馬進編『中国東アジア外交交流史の研究』……………葛兆光 (120)  
(石野一晴訳)

紹 介

- R・W・サザーン著『西欧中世の社会と教会』……………森本亮介 (129)

史学研究会

京都大学大学院文学研究科内

的・宗教的変化の相互関係を他のどこよりも明確に表現していると力説する。本章でとりわけ具体的な叙述が見られるのも、こゝうした見方が一因であるといえよう。第七章「周縁の修道会と、修道会に対するアンチ・テーゼとしての宗教運動」では、前章で検討された修道会と関連して、その周縁を取り巻く集団についての言及がなされる。こゝでその対象となるのは、民衆宗教を体現する鞭打苦行団や、女性を中心とするケルンのベギン会、そして、デーフェンテル（オランダ）の共同生活信心会などである。著者は、具体的な人物を取り上げつつ、正統教会組織とは一線を画す、ベギン会の忘我・幻視的な神秘主義的靈性や、形式的な拘束の誓願に捉われることなく内面的な魂への隠遁を求める共同生活信心会の靈性などを、これら周縁集団から読み取るようにする。最後に結論部で、これまでだどってきた議論が簡潔に総括され、本書は締めくくられる。

本書で展開される流麗かつ、時には大胆な比喩を用いた歴史叙述は印象的である。また、著者が多種多様な史料から引用する数多くの証言や記録に、読み手は同時代人

の生きた世界を感じ取ることが出来る。やもすると無味乾燥な事実の羅列に終始してしまいがちな概説書とは異なり、本書を無理なく通読することが出来る一因は、これらの点にもあるのではないだろうか。たしかに、本書はその原著の古き故か、近年における宗教史研究の成果と照らし合わせると、問題とされる部分も多い。しかし、中世ヨーロッパを理解するにあたって不可欠な教会組織と社会の関係を、該博な史料知識と華麗な筆致により丹念に跡づけた本書は、依然として良質な入門書としての価値を失ってはいないだろう。また、巻末には索引や六一―一六世紀にかけての教皇一覧に加え、著者の業績一覧もまとめられており、有益である。

(A5判 四七二頁 二〇〇七年四月)

八坂書房 四八〇〇円)

(森本亮介 京都大学大学院文学研究科修士課程)

## 受 贈 誌

(二〇〇七年二月二八日―  
二〇〇七年一〇月二日)

- ANNALI DI CAFOSCARIH (ヴェネチ  
ア大学外国言語・文学部東アジア研究  
科) 四五―一二(三七)
- ANTHROPOLOGICAL SCIENCE  
(The Official Journal of THE  
ANTHROPOLOGICAL SOCIETY  
OF NIPPON) 一一五―一
- EAST ASIAN REVIEW(The Asian Re-  
search Institute) 一一
- Historia Mexicana (El Colegio De Mex-  
ico) 一一二五―一二二六
- merc (一橋大学) 創刊号
- RITSUMEIKAN LAW REVIEW (The  
Risumeikan University Law Associa-  
tion) 二四
- アーカイブズ・ニューズレター(人間文化  
研究機構国文学研究資料館) 六
- アジア・アフリカ文化研究所研究年報(東  
洋大学アジア・アフリカ文化研究所) 四  
一

アジア研究所紀要(亜細亞大学アジア研究所) 三三三

アジア研究所所報(亜細亞大学アジア研究所) 一二六―一二八

エネルギー史研究——石炭を中心として  
——(九州大学記録資料館産業經濟資料部門) 二二二

オリエント(日本オリエント学会) 四九一

一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委員会) 三一―四三―一一二

茨城大学人文学部紀要社会科学論集(茨城大学人文学部) 四三―四四

ヨシ学科論集(茨城大学人文学部) 二―三

越佐研究(新潟県人文研究会) 第六四集  
學術研究——地理学・歴史学・社会科学編

——(早稲田大学教育学部) 五五

鴨台史学(大正大学史学会) 七

関学西洋史論集(関学西洋史研究会) 三〇

韓国史研究叢報(韓国国史編纂委員会) 一  
三六―一三七

韓国民族文化(釜山大学校韓國民族文化研究所) 二九

岩手史学研究(岩手史学会) 八八

岐阜經濟大学論集(岐阜經濟大学学会) 四〇―一一三

紀要史学(中央大学文学部) 五二  
京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史学編(京都女子大学大学院文学研究科) 六

九州國際大学法学論集(九州國際大学法学会) 一三―一三

九州國際大学経営經濟論集(九州國際大学經濟学会) 一三―一三

經濟科学(名古屋大学大学院經濟学研究科) 五四―四―五五―一

經濟学研究(九州大学經濟学会) 七三―一四  
―五十六合併号

經濟研究(一橋大学經濟研究所) 五八―二  
―三

經濟論究(九州大学大学院經濟学会) 一二  
六・一二七合併号

經濟論究(九州大学大学院經濟学会) 一二  
八

經濟論集(ソウル大学校經濟研究所) 四五  
―四

經濟論叢(京都大学經濟学会) 一七八―一  
―四

經濟論叢別冊 調査と研究(京都大学經濟学会) 第三二号

研究紀要(富山県立山博物館) 一四

古代文化(古代学協会) 五八―一―五九  
二

皇學館大學文學部紀要(皇學館大學) 四五  
考古學報(中国社会科学考古学研究所) 二〇〇七―一―二

國家學會雜誌(國家学会事務所) 一二〇―  
三・四―七・八

國際文化研究所紀要(横浜市立大学大学院國際文化研究科) 一〇―一三

國立情報学研究所ニュース(國立情報学研究所) 三五

國立歴史民俗博物館研究報告(國立歴史民俗博物館) 一三四―一三八

札幌大学女子短期大学部紀要(札幌大学女子短期大学部) 四九

札幌大学総合論叢(札幌大学) 一三三

三康文化研究所所報(三康文化研究所) 四  
二

三康文化研究所年報(三康文化研究所) 三  
八

山形大学歴史・地理・人類学論集(山形大学歴史・地理・人類学研究会) 八

- 山口大學文學會志(山口大學文学会) 五七  
 史学研究集録(國學院大學日本史学専攻大  
 学院会) 三三一  
 史観(早稲田大学史学会) 一五六―一五七  
 史泉(関西大学史学・地理学会) 一〇六  
 史窓(京都女子大学史学会) 六四  
 史料(皇學館大學史料編纂所報)(皇學館  
 大學史料編纂所) 二〇七―二〇九  
 史學(三田史学会) 七五―四七六―一  
 史學研究(広島史学研究会) 二五六―二五  
 八  
 史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))  
 一一六―三―九  
 史迹と美術(史迹美術同致会) 七七三―七  
 七八  
 鹿児島経済論集(鹿児島国際大学経済学部  
 学会) 四七一―三  
 社会学年誌(早稲田社会学会) 四八  
 社会経済史学(社会経済史学会) 七二―四  
 一七三―一  
 駿台史學(駿台史学会) 一三〇―一三二  
 信濃(信濃史学会) 五九―三―一〇  
 新潟産業大学人文学部紀要(新潟産業大学  
 東アジア経済文化研究所) 一八  
 神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会)

- 二二  
 神道史研究(神道史学会) 五五―一  
 人文学報(京都大学人文科学研究所) 九三  
 人文研究(小樽商科大学) 一一三  
 人文地理(人文地理学会) 五九―一―二  
 人文學(同志社大学人文学会) 一八〇  
 成大歴史学報(国立成功大学歴史学系) 三  
 一

### 編集後記

九〇巻五号をお届けします。今号では巻頭の久野論説をはじめ、研究ノート、研究動向と、史料の再検討、なかでも用語の解釈や語意の確定に徹底してこだわった基礎作業を行い、そのうえで論理的解釈を展開する歴史研究の醍醐味を実感できる論考が集まりました。また、EU拡大を契機にはじまったポーランドからの労働力流入が現在イギリスの移民問題論争に新たな局面をもたらしていることを考えますと、溝上論説はタイムリーな掲載となりました。

後半は、書評本の描くディテールから、古代文献史学と考古学との重なり合い、古代地域史と国家形成史との連関といった枠組み論をめぐる問題提起に至るまでを正面

から論じた書評、また、東アジア地域史・交流史に関する研究書にふさわしく中国の研究者から寄せていただいた書評、そして、西欧中世社会と教会に関する基礎的文獻の紹介と、最後のページまで充実したラインナップとなっております。(山口)

### ◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.ni.ac.jp/sh/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会平成一九年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)が交付されておりま

二〇〇七年八月二五日印刷 定価 二〇〇円  
 二〇〇七年九月一日発行  
**史 林** 第九〇巻第五号(通巻第四六五号)  
 京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学部研究科内  
 電話 (〇七五) 七五三二二七八七  
 FAX (〇七五) 七五三二二七八七  
 発行人 **史学研究会**  
 振替京都 〇二〇七〇二二五五番  
 理事長 金 田 章 裕  
 印刷所 中村印刷株式会社  
 京都市南区上鳥羽藤田二瓦

# THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. XC No. 5

September 2007

---

### CONTENTS

#### Articles :

HISANO Nobuyoshi, *Buppo* and *Oho*, the Buddhist Law and Royal Law ..... ( 1 )

MIZOKAMI Hiromi, Turning Alien Servicemen into Foreign Labour:  
The Polish Resettlement Policy of the Attlee Labour Government,  
1946-49 ..... ( 38 )

#### Note :

INOUE Fuminori, A Reconstruction of the Career of Odaenathus ..... ( 71 )

#### Academic Trends :

OKAMOTO Takashi, "Tribute" (*ch'ao-kung*), "Trade" (*hu-shih*),  
and the Maritime Customs System in 16th-19th-Century China ..... ( 87 )

#### Book Reviews :

HARA Hidesaburou, *Ancient History of Region and Regality*  
(KOBAYASHI Syoji) ..... (110)

FUMA Susumu (ed.), *Essays on the History of Chinese Diplomacy and  
Cultural Exchange in East Asia* (GE Zhaoguang) ..... (120)

#### Miscellaneous :

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369